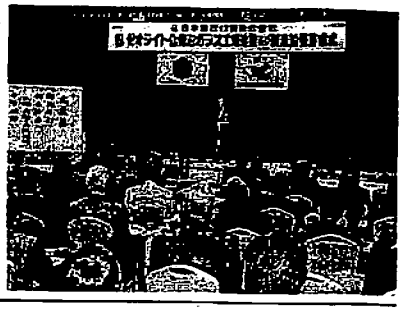
佐賀建設新聞
http://www.kensetsunews.co.jp
発行所
建設新聞社
〒849-0301
小城市牛津町乙柳
1145-7
☎ (0952)66 - 5750(代)
(0120)63 - 5750
Fax(0952)66 - 5751
振替口座 01770-8-89435
購読料 月額4,725円(税込)
佐賀県内建設業
業界専門紙

ゼオライト化

発泡ガラス工場が落成

日本建設技術(唐津市)



日本建設技術㈱(本社・唐津市北波多、原裕社長)が本社敷地内に建設していた「ゼオライト化発泡ガラス工場と製造設備」が完成し7日、唐津市内のホテルで落成式が催された＝写真。行政やコンサル関係者など約180人が出席。

工場は、鉄骨造平屋建て(延床1034㎡)。ワインビン等の有色廃ガラス材をリサイクルした発泡ガラスのミラクルソルと、同素材の表面をゼオライト化した素材を生産する。水質浄化や土壌汚染対策等に効果を発揮する材質で、月250tを生産する。総事業費は約3億9000万円。

これまで群馬、岐阜県で委託生産していたが、工場建設により自社での本格生産が始まる。

ゼオライト化発泡ガラス材は、発泡ガラスの表面をゼオライト(ケイ素とアルミニウムが酸素を介して結合した、細孔を持つ結晶性のアルミノケイ酸塩)化した複合素材。重金属吸着や陽イオン交換機能、肥料保持機能があり、河川等の水質浄化や農薬・ダイオキシンなど汚染土壌処理などの用途がある。

落成式では、田中常務の開式の辞に次ぎ、原社長が「ゼオライト化発泡ガラスを生産する国内初の工場が完成した。これからの1年半で市場調査を行い、高付加価値を持つ発泡廃ガラスを生産し、国内はもとより外国にも存在しない環境浄化素材の開発を行っていく。今後とも更なるご支援を」とあいさつ。

この後、原社長がパワーポイントを使い、ミラクルソルやゼオライト化発泡ガラスを使用した工法等を説明。屋上・岩盤緑化や軽量盛土、透・保水性舗装、有明海の底質改善実験などの成果を披露した。水や酸素を保有できる連続間隙構造を持ち、かつ水に沈む比重の発泡廃ガラスの開発で有明海の浄化にも取り組む。

独立行政法人科学技術振興機構の菊池博道・産学連携事業本部開発部開発推進課長ら来賓のあいさつに続き、懇親会に入り、出席者は歓談し、親交を深めた。